



新宿社協だより KEYAKI

けやき

だれもが安心して暮らせる新宿型福祉コミュニティの実現をめざして

「けやき」は2ヶ月に1回20日に発行です



1

No.140

平成27年(2015)
1月1日発行

月号

社会福祉法人 新宿区社会福祉協議会
〒169-0075 新宿区高田馬場 1-17-20
電話:03-5273-2941(代表) FAX:03-5273-3082
Eメール:houjin@shinjuku-shakyo.jp
<http://www.shinjuku-shakyo.jp>



双子が集まる地域の
居場所



気持ちに寄り添う市民後見人

つなぐ



笑顔あふれるサロン活動



育む



赤い羽根の募金をしました。



私たちのまちをきれいに
しました。



子どもたちと視覚障害者、
盲導犬との交流体験



つなぐ
育む社協へ

社協へ



社会福祉法人
新宿区社会福祉協議会
会長 北中 誠

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。
皆さまには、健やかに新年をお迎えのことと
お慶び申し上げます。
昨年は、第三次経営計画の初年度にあたり、
基本理念である「だれもが安心して暮らせる新
宿型福祉コミュニティ」の実現に向けて、大き
な一歩を踏み出した年でありました。
今年は、生活困窮者自立支援法の施行、更に、
介護保険法の改正を控え、これまで以上に、
区民の皆さまに、社会福祉協議会の様々な活動
が注視され、主体的な活動の在り様が問われる
年になるものと考えております。
今後とも社会福祉協議会は、区民の皆さまの
身近に起きる様々な課題に対し、解決への道筋
を明らかにできるよう、役職員一丸となって
取り組んでまいります。
引き続き、多くの皆さまのご支援を、心より
お願い申し上げます。本年が、皆さまに
とって、明るく希望に満ちた年になりますよう
御祈念申し上げまして、新たな年のごあいさつ
とさせていただきます。

平成二十七年 元旦

オーディオ・ビジュアル機器メーカーのオンキヨー株式会社、公益財団法人「日本教育科学研究所」と毎日新聞社点字毎日が開催する「第12回オンキヨー世界点字作文コンクール」において、視覚障害者を支える側の作品として今回新設された「サポートの部」優秀賞に、関場理華さんの作文「点字百人一首への挑戦」が選ばれました。

関場さんは、新宿社協1階の視覚障害者交流コーナーを活用し、多くの仲間や地域のボランティアなどとともに「点字百人一首」を作成しました。11月22日には、点字百人一首の作成に携わったたくさんの方々との完成披露会が開催されました。入賞した作文と一緒に完成披露会の様子もご紹介いたします。



「点字百人一首への挑戦」 関場理華

「春すぎて 夏来にけらし 白妙の～」

上の句が読み上げられるのと同時に選手の手が一斉に点字が付いた百人一首の札の上を走る。「はい」。70代女性の声一同どよめく。「また取られちゃった」と主婦が悔しそうに言えば「次こそ取るぞ!!」と若者の声。

ここは東京・高田馬場にある新宿区社会福祉協議会・視覚障害者交流コーナーだ。新年会で催されたのが「点字百人一首のデモンストレーション」。発案者は全盲の友人と私。友人も子育て真っ最中、私の子供も全盲だった。その友人が話し始めた。「子供たちが学校に行くと、お正月に百人一首のカルタ大会があるでしょう。一度親子で見学に行ったらビックリしちゃった。読み手の声に耳をすます静寂感。一瞬で勝負がつく緊張感。あれを点字の札でできないかしら?」。私の子供も授業で百人一首に取り組む前だったので、よし!取り組んでみようと思った。

調べるうちに「五色百人一首」という、小学校で活用されている用具を知った。枚数は一回戦につき20枚。レベルごとに分けられ、最初のレベルには有名な歌など、百人一首をよく知らなくても対戦でき札を取る喜びが味わえる。

「これだ!」。近所の100円ショップで材料を買ってきて枠を作った。次は我が家の子供たちで実験だ。全盲対晴眼になるので「点字使用者は試合開始5分前に自分の作戦で札を並べて良い」というハンディを付ける。結果は互角。ビックリした!でも百人一首の特性はそこにあった。記憶力も問われており、上の句を読む間に早く下の句を思い出せば札を取ることが出来るのだ。

「これは面白い!」。体験した人は口々に褒めてくれた。ところが問題が。「点字百人一首」は売っていない。私が手作りできる数にも限界がある。冒頭の視覚障害者交流コーナーの職員の方に声を掛けられたのはそんな時だった。「絶対に喜ばれますよ。見えない人も見える人も楽しめる。社協に登録している方々の力を借りましょう」と呼びかけてくださった。ボランティアの方と全盲の使用者の打合せが始まり、2カ月後には試合用のセットが5組もできた。私1人の力ではここまで来られなかった。地域の力、専門家や当事者の助言、何より参加した方々の笑顔が大きく実った。仲間を広げ、この輪を大きくつなげてゆきたい。(抜粋)



点字百人一首 完成披露会

点字百人一首の作成に携わった新宿区社会福祉協議会登録ボランティア、点訳者、音訳者、盲学校教員、木工制作のプロ、百人一首愛好家等の多くの協力者とともに完成した点字百人一首を楽しみ、完成した喜びをみんなで分かち合いました。

点字百人一首 新春かるた会を開催します

日 時:平成27年1月17日(土)
午前10時30分～午後3時30分
場 所:新宿社協1階 視覚障害者交流コーナー

ご自由に
見学できます

視覚障害者・聴覚障害者交流コーナーとは

視覚・聴覚等に障害のある方の社会参加のために、視覚障害者・聴覚障害者交流コーナーを開設しています。障害のある方同士や支援者、障害について学ぼうとしている方々などの交流の場として、情報交換や相互理解を深めています。

● 視覚障害者交流コーナー 電話・FAX 03-6233-9555
● 聴覚障害者交流コーナー 電話・FAX 03-6457-6100
月曜～土曜日 午前10時～午後9時(日曜日、祝日、年末年始は休み)
コーナー担当推進員は、午前10時から午後5時まで常駐します。
● 関係機器のご利用は、コーナー担当推進員常駐時間内をお願いします。 ●

新年の業務は、2015年1月5日(月)より開始いたします。

★新宿社協では視覚障害をお持ちの方のために、本紙の『CD』をお貸ししています。ボランティア団体「ぐるーぷ・カナリヤ」さんのご好意によるものです。どうぞご利用ください。